

桑田春風 くはた しゅんぷう 詩人、歌人、書翰文研究家。明治十年二月十日千葉縣山武郡豐成村生れ、昭和十年五月四日没（八七七一九三三）。本名正。別號ひぐらしのりや、哲秀逸人、春如世、春風生、有樂道人、桑田哲秀、桑田金泥、金泥、金泥子、金泥居、T.T.等。東京專門學校文學科の學ぶ。『キキ紙雜誌』を主宰編輯し、書翰文研究家として知名。

編著の『手紙自由自在』（明治四十三年七月十一日啓成社）、『古今名媛書簡』（明治四十四年五月二十六日啓成社）、『活例名家書簡』（明治四十四年八月二十四日啓成社）、『趣味之日記』（明治四十四年十月二十一日良朋堂書店）、『學清元集』（桑田金泥選、大正元年九月七日岡村書店）、『千山萬水旅からの手紙』（大正四年八月二十日明治出版協會）、『模範實例日用名家の手紙』（大正五年九月十五日大倉書店）、『美文紀行旅の手紙』（大正六年四月十日盛文館書店）、『登山物語』（大正七年六月五日學興勵會「家庭自學文庫」）、『俳趣味の手紙』（大正九年十月十日銀鈴社）、『現代美文沙金の壺』（大正十年一月十五日隆文館株式會社）、『名勝紀行くらぶのちと』（大正十一年二月十五日隆文館株式會社）、『英語海白き英語の手紙』（六版・大正十二年九月一日富士房）、柴田鳩翁著『新鳩翁道話』（校訂、大正十五年十一月五日岡村書店）等。

